

# 議会だより

## 研修会

### 北海道町村議会議員 研修会（6月25日）

#### （第一部）

6月25日に札幌コンベンションセンターにて北海道町村議会議員研修会が開催され、全道より144町村、1,570名の議員が集まった。初めに「どうなる今後の日本政治」と題して政治評論家の有馬晴海氏より講演を受けた。長期安倍政権の現状、さらに7月に実施される参院選の見通し、後に日本の現状、少子高齢化社会の今後の取り組みべき課題について話された。（広報特別委員会 小松）



有馬 晴海 氏

#### （第二部）

「地方は変わるか、議会はどう変わるか、自治体はどう変えるか」と題し、中央大学名誉教授、日本国づくり研究所代表の佐々木信夫氏が講演された。

日本の人口及び財政危機、東京一極集中から地方分権への転換、事務遂行型自治体から政策立案型自治体への変換、チェック機関であった地方議会を立法機関へ、持続可能な新たな地域政策の確立などについて、現在の問題点や今後の改正策を順を追って述べられた。



佐々木 信夫 氏

（広報特別委員会 北島）

### 空知町村議会議員 研修会（7月12日）

空知町村議会議員研修会が7月12日、奈井江町文化ホールで開催されました。

今年度は北海道大学公共政策大学院特任教授 高松 泰氏をお招きして『地方自治体の防災・減災政策』と題して近年の異常気象に発生する全国的な災害をもとに、空知の地域構造や被害の全容・災害対応の検証、それに伴う避難行動や被災者支援、更に防災・減災対策と多くのデータを提示しながら説明いただきました。

今後各地で起きる可能性のある災害に備えて各自治体や開発局ばかりでなく、全国の災害現場に向向しているサポートセンター等とも連携し信頼関係を築きながら、地域が力強く災害に強い町として発展する取り組みをしていくことを提案されました。

（広報特別委員会 尾崎）

### 北空知議会議員 研修会（7月25日）

7月25日秩父別町にて北空知議員研修会が開催された。

1市4町の議員61名が参加し、講師の北海学園大学教授 内田和浩氏より「縮小する自治体の持続可能性」をテーマに講演を受けた。

「人口減少」、「縮小社会」を受け入れることを地域社会として自治体として合意し、今ここに住んでいる人々が、一生住み続けられる社会を目指すべきとの提言を受けた。

（広報特別委員会 小松）





議 壇

コ ラ ム

いよいよ、10月から消費税が8%から10%へ増税される予定です。

消費税は、間接税の中でも日々の生活でのやり取りから最も身近な税の一つと言えます。ちなみに今、消費税8%の内、国が6.3%、残り1.7%は、都道府県、市町村に納められ、30年度決算では北竜町には3,960万円交付されています。

今回の増税で注目されるのは、軽減税率の存在です。購入する品物によって、あるいは品物を消費するシチュエーションによって税率が8%になったり10%にな

ったりするのです。さらに、増税に伴う経済対策としてキャッシュレスに対してポイント還元やプレミアム商品券など、何やら盛りだくさんです。

過去、2回にわたって消費税増税が先送りされ、国の懐事情、社会保障費の年々増大など、増税は不可避かと思われませんが、負担増には間違いありません。

暑い夏も過ぎ、秋の夜長。国と地方合わせて約50種類ほどの税があります。この機会に節税を念頭に勉強するのはどうでしょうか。

(小坂一行)

## 定例会を傍聴しませんか

■第3回定例会(会期9月11日～13日)

9月11日 午前9時30分～

